

南部中学校区 健全育成会だより

発行 南部中学校区青少年健全育成会事務局 浜松市中央区龍禅寺町706 ☎ 454-4591

健全育成会会長 あいさつ



年が明け、メディアから日々伝えられる時事情報、海外に目を向ければ、山火事や戦闘といった目まぐるしく環境が変化している現代社会において、未来を担う皆さんの生活が穏やかで健やかになることを願ってやみません。

考え方や自然との付き合い方、道具の使い方は、各々のおかれている状況や環境によって違う形を見せるのでしようし、その方向が素晴らしいものであれば、より豊かな感情を生み出してくれることと思います。

日々生活していくうえで、「これだ」という正解がないとしても、小さな幸せが1つ1つ重なって、優しさと優しさが皆さんの未来を包んでいってくれたら、素敵な世界が広がるような気がします。

人と人が関わりを持つ以上、どのような事柄も結果は表裏一体かもしれませんが、ストレスと感じることも、次の自分へのステップなんだと、自分が大きく成長できるチャンスなんだと、プラスに変えていただけたらと思います。

泣くことも失敗したと思うことも、決して恥ずかしいことではありません。たくさん泣きべそをかいて、たくさん笑っていきましょう。

最後になりましたが、地域の皆様、教育機関の皆様におかれましては、青少年健全育成会の活動に関する御協力だけでなく、子ども達を日々温かく見守り下さり心より感謝申し上げます。子ども達とともに私達も日々社会人として成長してまいりましょう。

大場 敬丘

健全育成会副会長 あいさつ



昨年は大変に暑く長い夏があり、冬に入り新型コロナウイルス、インフルエンザの感染症が流行っており、皆様は十分に注意をして生活されていることと思います。

コロナ禍での社会教育内容が制限された状況から、各活動の範囲が以前のように広がり、元気がある日々の学校生活を過ごす多くの児童生徒がいて賑やかな声が聞こえてきます。

楽しい活動はより楽しく、あまり楽しくないこともそれなりに。後に引かないで、やらされている感を考えずに、

無理にでも好きなところを見付けだして前向きに考えると、新しい景色が見えてくると思いますよ、まだ見えていない景色が見えると良いですね。

人はそれぞれに個性があり考え方や行動が異なり、みんな良いところを持っていますので、良い地域社会環境の中で、日々の様々な活動を通し、多くの経験をして、明日に向かい大きく成長されて行かれることを願っています。

地域の皆様には、青少年に対して元気の出る様な、良い声かけ、見守りをして頂いて、これから先の成長へのサポートを宜しくお願い申し上げます。

清水 哲夫

ひとりひとりにいい声掛けデー」の取組を紹介します。

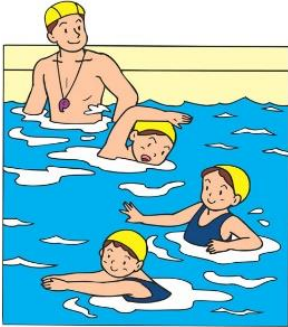
11月11日（月）浜松市青少年健全育成会連絡協議会の重点活動への協力として、浜松市内統一「ひとりひとりにいい声掛けデー」を実施しました。

「地域の大人から子供への愛のひと声を！」を合言葉に、安心・安全な地域づくりを目指す活動です。南部中学校区の各校の取組の様子を写真で御覧ください。

【 南部中学校 】



【 双葉小学校 】



【 白脇小学校 】



【 竜禅寺小学校 】



白脇小学校

～ 「あいさつ 浜松一」を目指して ～

白脇小学校は、「あいさつ浜松一」を目指して全校挙げてあいさつ運動に取り組んでいます。

生活安全委員会による挨拶運動は、毎朝正門前と北校舎昇降口、南校舎昇降口で行っています。朝の活動なので時間は限られていますが、毎朝欠かさず行うことで挨拶の輪が広がりどの学年も参加人数が増え、挨拶に対する意識も高まっています。

朝の昇降口だけでなく昼間の校舎内においても、企画委員会と生活安全委員会の呼び掛けにより6年生全体で挨拶運動を行っています。企画委員会が、よい挨拶をした6年生を「名人」「達人」「師範」「殿堂入り」として賞揚し、まずは、新校舎に挨拶の輪を広げていきました。

次に6年生が北校舎や南校舎に出向き、学校全体に挨拶の輪を広げていきました。始めのうちは、6年生の声だけが響いていましたが、徐々に相手方からも挨拶が返ってくるようになり、今では学校全体に挨拶のさわやかな声が響きわたるようになりました。

11月11日に行われた「ひとりひとりにいい声掛けデー」では、子供たちだけでなく保護者や地域の方など70名以上の参加を得て、白脇地区に挨拶の輪を広げることができました。

これからも挨拶は全ての基本と考え、「あいさつ浜松一」を目指し、この白脇をつくっていく子供たちを、地域や家庭とともに育てていきたいと思っています。



竜禅寺小学校

竜禅寺小学校は、今年度創立100周年を迎えました。

6月に、全校児童と教師で運動場に人文字をつくり、航空写真を撮影し、それを下敷きにして全校児童に配布しました。また、6年生が中心となり、壁画のデザインを考え全校児童で馬込川沿いの壁に色を塗りました。

学校行事においても、100周年を意識した取り組みを行いました。

ドラゴン運動会では、各学年の集団演技において工夫した表現を取り入れ、100周年をお祝いしました。そして、「未来へつなげ笑顔の力！」のスローガン通り、未来へ踏み出していく子供たちの笑顔あふれる素晴らしい運動会となりました。

ドラゴン発表会では、100周年を記念して、全校児童で校歌を斉唱し、体育館いっぱいに素敵な歌声を響かせました。また、各学年の発表では、竜禅寺小学校の歴史を学ぶ場面や100周年をお祝いする場面もあり、100年の歴史の重みを感じる発表会になりました。

これからも、学校と家庭・地域が一体となって未来を創っていく子供たちを育てていきたいと思っています。



南部中学校

校訓である「南中魂」は、あらゆる場面で「やる気・根気・元気・本気」の4つの気をもって取り組むことが、南部中学校の目指す生徒像となっています。今年度も、生徒たちはこの「南中魂」で様々な活動において躍動しました。

二大行事のひとつである体育大会は、昨年度同様、エコパスタジアムで開催されました。学校の運動場とは違う雰囲気の中で、当日の暑さに負けないくらいの熱気と盛り上がりでした。中でも、体育大会の目玉であるスタンプ合戦は見ている人を圧倒する迫力でした。もうひとつの二大行事、文化発表会はアクトシティ大ホールで開催されました。どの学級も練習の成果を発揮し、すばらしい合唱を披露しました。特に3年生の合唱は、聴いている人に感動を与え、涙を流される保護者の方も多数いらっしゃいました。

部活動でも、多くの運動部・文化部が活躍しました。特に水泳競技部2年の阿部意さんは、全国大会（女子800m自由形）に出場しました。また、同じく水泳競技部3年の鈴木風優さん（女子200m平泳ぎ）、男子卓球部団体、個人では3年杉山翔悟さんがそれぞれ東海大会出場を果たしました。吹奏楽部も全日本吹奏楽コンクール東海大会へ出場し、銅賞を受賞しています。

懸命に頑張る南中生に、今後も変わらぬ応援をお願いします。



▲エコパでの体育大会



▲アクトでの文化発表会

双葉小学校

～「運営委員会による『あいさつイベント』」～

双葉小学校では、子供たちの運営委員会が中心になって、みんなが元気いっぱい明るいあいさつができるように日々活動しています。昨年度までは、運営委員だけがあいさつ運動をしていたのですが、本年度は運営委員会での話し合いの中で「自分たちだけでなく、あいさつボランティアをしたいと思っている子供たちにも参加してほしい」と声があがりました。そこで2学期から「あいさつボランティア」を募り、朝のあいさつ運動に取り組みました。参加した子供にはスタンプをあげるようにしました。「スタンプが5個になったよ」「あいさつをすると1日元気に過ごせたよ」「私もあいさつ運動をやりたい！」と積極的に参加する子供たちが増え、あいさつの輪が広がっています。

今後も、子供たちが、あいさつをすることの意義を感じ、創意工夫を凝らしながら、双葉小学校に明るいあいさつの輪を更に広げていくことができるよう、子供たちを支援、励ましていきたいと思ひます。

